

## 成果の説明書

(氏名) 田中 宏和	(学部) 地域政策学部
<p>1 重要事項</p> <p>(教育)</p> <p>本年度の担当科目は、スポーツ政策論、スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ、基礎演習、初年次ゼミ、グループ研究Ⅰ、グループ研究Ⅱであった。詳細は以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・スポーツ政策論 受講者のスポーツへの関心の度合いを踏まえながら、スポーツが抱える現状及び政策的課題について、できるかぎり具体的なテーマや事例を数多く取り上げた。またそれらの課題等について受講者が自身の意見を持てるよう工夫し展開した。</li><li>・スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ 受講者の運動能力を踏まえながら、受講者全員が各スポーツ種目に参加できるようゲームの実施方法やルール設定を工夫しながら実施した。</li><li>・基礎演習 内田樹、想田和弘著：『下り坂のニッポンの幸福論』、青幻舎、2022.7の輪読を行った。また「ご当地ゆるスポーツアワード 2022」に参加した。その結果1グループが優勝を決める本大会進出を果たした。惜しくも優勝には至らなかったものの学生にとっては良い経験の場となった。学生のアイデアを尊重しながら新たな気づきが生まれるよう工夫をしながら指導にあたった。</li><li>・初年次ゼミ 初年次ゼミテキスト及び輪読テキスト（小笠原博毅、山本敦久著：『東京オリンピック始末記』、岩波書店、2022.1）を用いて新入生が学びを進めていく上で不都合が生じないよう工夫しながら展開した。</li><li>・グループ研究Ⅰ、グループ研究Ⅱ 受講者が、議論を通じて地域課題の検討そしてその課題の解決方法の提案ができるよう指導にあたった。特にスポーツが持つ力に着目し、スポーツによる社会問題の解決方法が模索できるように工夫しながら展開した。</li></ul> <p>(研究)</p> <p>以前から取り組んできた国会議論のデータ収集及び分析を行った。これまでの成果に加え今回の成果をまとめ、論文として公表できるよう執筆活動を進めている。また、国内学会から査読の依頼があり、2本の論文査読を行った。</p> <p>(学生指導)</p> <p>体育会顧問及び直心影流剣道部顧問（部長兼監督）として学生指導を行った。参加した大会及び結果は以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・第71回関東学生剣道優勝大会（日本武道館：1回戦敗退）</li><li>・第68回関東学生剣道新人戦大会（東京武道館：ベスト32）</li><li>・第88北関東五大学剣道大会（高崎経済大学：男子4位、女子3位）</li><li>・群馬三大学剣道大会（高崎経済大学：男子Bチーム優勝、男子Aチーム準優勝）</li></ul> <p>(地域貢献)</p> <p>市民総合スポーツ選手権夏季大会兼大和市剣道選手権大会等の各種大会に審判インとして参加した。</p>	

2 その他の事項

入試運営委員会の委員として、入学試験関連の学内業務に携わった。

3 次年度以降の計画・抱負

(教育)

今年度の「授業に関する学生アンケート調査」の結果を踏まえながら改善を行い、受講者の学びがさらに深まるよう展開方法等の工夫を行う。

(研究)

これまで継続して行っている国会議論に関する研究成果をまとめ、発表を行う。また現在、執筆中のスポーツビジネスに関する書籍を出版する。

(学生指導)

体育会及び直心影流のさらなる活動充実を目指す。また全日本学生剣道大会及び全日本女子学生剣道大会への出場を目指す。